

令和9年度開設予定の大学の学部等の設置届出一覧（令和8年6月分）

1 大学の学部設置 2 校								令和8年6月分		
区分	大 学 等 名	学 部 ・ 学 科 等 名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考			
公立	北九州市立大学	情報イノベーション学部 情報エンジニアリング学科 共創社会システム学科	68 50	福岡県北九州市	公立大学法人 北九州市立大学	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。（情報イノベーション学部情報エンジニアリング学科、共創社会システム学科）	外国語学部 英米学科〔定員減〕 中国学科〔定員減〕 国際関係学科〔定員減〕 経済学部 経済学科〔定員減〕 経営情報学科〔定員減〕 文学部 比較文化学科〔定員減〕 人間関係学科〔定員減〕 法学部 法律学科〔定員減〕 政策科学科〔定員減〕 国際環境工学部 情報システム工学科（廃止） ※令和9年4月学生募集停止 環境化学工学科〔定員減〕 機械システム工学科〔定員減〕 建築デザイン学科〔定員減〕 生命工学科〔定員減〕	(△5) (△5) (△3) (△4) (△4) (△5) (△4) (△6) (△4) (△70) (△2) (△2) (△2) (△2)		
私立	東北学院大学	教育学部 教育学科	100	宮城県仙台市	学校法人 東北学院	・特になし。	文学部 教育学科（廃止） ※令和9年4月学生募集停止 英文学科〔定員減〕 （3年次編入学定員）〔定員減〕 歴史学科〔定員減〕 経済学部 経済学科〔定員減〕 経営学部 経営学科〔定員減〕 （3年次編入学定員）〔定員減〕 法学部 法律学科〔定員減〕 工学部 機械知能工学科〔定員減〕 電気電子工学科〔定員減〕 環境建設工学科〔定員減〕 地域総合学部 地域コミュニティ学科〔定員減〕 政策デザイン学科〔定員減〕 情報学部 データサイエンス学科〔定員減〕 国際学部 国際教養学科〔定員減〕	(△70) (△30) (△2) (△20) (△30) (△11) (△2) (△15) (△5) (△20) (△15) (△15) (△10) (△10) (△10)		
計	2 校	2 学部 3 学科								

（注）「備考」欄の（ ）書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大 学 等 名	学 部 ・ 学 科 等 名 入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	帝京科学大学	医療科学部 医療科学科 150	山梨県上野原市	学校法人 帝京科学大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・生命環境学部アニマルサイエンス学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・医療科学部東京理学療法学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・教育人間科学部こども学科、幼児保育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	医療科学部 理学療法学科（廃止）（△80） 作業療法学科（廃止）（△40） 柔道整復学科（廃止）（△30） ※令和9年4月学生募集停止 教育人間科学部 幼児保育学科〔定員減〕（△30）
私立	金沢学院大学	経済学部 経済情報学科 40	石川県金沢市	学校法人 金沢学院大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・情報工学部情報工学科の収容定員未充足の是正に努めること。	経済学部 経済学科〔定員減〕（△45）
私立	神戸女子大学	健康福祉学部 健康福祉学科 110	兵庫県神戸市	学校法人 行吉学園	・看護学部看護学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・文学部日本語日本文学科、英語英米文学科、国際教養学科、史学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・教育学部教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・家政学部家政学科、管理栄養士養成課程の収容定員未充足の是正に努めること。	健康福祉学部 社会福祉学科（廃止）（△50） 健康スポーツ栄養学科（廃止）（△70） ※令和9年4月学生募集停止 文学部 日本語日本文学科〔定員減〕（△20） 英語英米文学科〔定員減〕（△10） 国際教養学科〔定員減〕（△10） 史学科〔定員減〕（△10） 家政学部 家政学科〔定員減〕（△10） 管理栄養士養成課程〔定員減〕（△30） （3年次編入学定員）〔定員減〕（△10） 教育学部 教育学科〔定員減〕（△30）
私立	松山大学	人文学部 グローバル・コミュニケーション学科 110	愛媛県松山市	学校法人 松山大学	・人文学部社会学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・法学部法学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・情報学部情報学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・薬学部医療薬学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	人文学部 英語英米文学科（廃止）（△110） ※令和9年4月学生募集停止
計	4 校	4 学部 4 学科				

（注）「備考」欄の（ ）書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大 学 等 名	学 部 ・ 学 科 等 名 入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	日本大学大学院	総合社会情報研究科 総合社会情報専攻 (M) 75	東京都千代田区	学校法人 日本大学	・生産工学部電気電子工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・工学部情報工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・工学部機械工学科、電気電子工学科、生命応用化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・法学部（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。 ・文理学部（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。 ・経済学部（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。 ・商学部（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。	総合社会情報研究科 国際情報専攻 (M) (廃止) (△30) 文化情報専攻 (M) (廃止) (△30) 人間科学専攻 (M) (廃止) (△30) ※令和9年4月学生募集停止
私立	早稲田大学大学院	先進理工学研究科 共同先進健康科学専攻 (D) 4	東京都新宿区	学校法人 早稲田大学	・人間科学部人間環境科学科（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。	先進理工学研究科 ナノ理工学専攻 (M) (廃止) (△35) 共同先進健康科学専攻 (D) (廃止) (△4) ※令和9年4月学生募集停止
私立	明星大学大学院	理工学研究科 理工学専攻 (M) 理工学専攻 (D) 16 1	東京都日野市	学校法人 明星学苑	・人文学部国際コミュニケーション学科、人間社会学科、日本文化学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・経済学部経済学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・情報学部情報学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・教育学部教育学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・経営学部経営学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・デザイン学部デザイン学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・心理学部心理学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・建築学部建築学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・教育学部教育学科（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。	理工学研究科 物理学専攻 (M) (廃止) (△10) 化学専攻 (M) (廃止) (△10) 機械工学専攻 (M) (廃止) (△10) 電気工学専攻 (M) (廃止) (△10) 環境システム学専攻 (M) (廃止) (△5) 物理学専攻 (D) (廃止) (△5) 化学専攻 (D) (廃止) (△5) 機械工学専攻 (D) (廃止) (△5) 電気工学専攻 (D) (廃止) (△5) 環境システム学専攻 (D) (廃止) (△2) ※令和9年4月学生募集停止 人文学研究科 国際コミュニケーション専攻 (M) [定員減] (△7) 国際コミュニケーション専攻 (D) [定員減] (△2) 情報学研究科 情報学専攻 (D) [定員減] (△2)
私立	皇學館大学大学院	文学研究科 総合人文学専攻 (M) 総合人文学専攻 (D) 9 3	三重県伊勢市	学校法人 皇學館	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（文学研究科総合人文学専攻 (M)、総合人文学専攻 (D)）	文学研究科 神道学専攻 (M) (廃止) (△3) 国文学専攻 (M) (廃止) (△5) 国史学専攻 (M) (廃止) (△5) 神道学専攻 (D) (廃止) (△2) 国文学専攻 (D) (廃止) (△2) 国史学専攻 (D) (廃止) (△2) ※令和9年4月学生募集停止
私立	大阪産業大学大学院	経営・流通学研究科 経営・流通専攻 (M) 5	大阪府大東市 大阪府大阪市	学校法人 大阪産業大学	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	経営・流通学研究科 経営・流通専攻 (D) (廃止) (△5) ※令和9年4月学生募集停止 経営・流通専攻 (M) [定員減] (△10) ※博士前期課程から修士課程への変更
計	5 校	5 研究科 (M) 4 専攻 (D) 3 専攻				

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大 学 等 名	学 部 ・ 学 科 等 名 入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
公立	秋田県立大学大学院	未来グリーン・デジタルサイエンス学環 (M) 20	秋田県秋田市 秋田県由利本荘市	公立大学法人 秋田県立大学	・生物資源科学部生物環境科学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。 ・連係協力研究科等間の緊密な連係・協力により、横断的な分野に係る教育課程を着実に実施すること。また、当該教育課程の実施により、研究科等連係課程実施基本組織はもとより、連係協力研究科等における教育研究活動にも支障がないよう留意すること。	研究科等連係課程実施基本組織等の入学定員として活用する各連係協力研究科等の入学定員の内数 システム科学技術研究科 総合システム工学専攻 (M) <15> 生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 (M) <5>
計	1 校	1 組織				

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。